

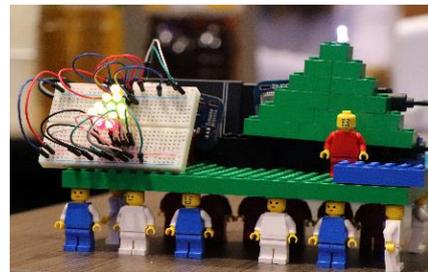
JISA ソフトウェアイノベーションシンポジウム 2019 「DX 時代を切り拓く革新的なエンジニアを目指して」開催

令和元年 12 月 18 日、大手町プレイスカンファレンスセンターにおいて、技術革新委員会（委員長 岩本敏男 NTT データ相談役）主催「ソフトウェアイノベーションシンポジウム 2019」が、会員企業のエンジニアを中心に約 200 名の参加を得て開催された。

午前中のセッションでは、岩本委員長のオープニング講演で幕が開けた。基調講演では、内閣官房デジタル市場競争本部事務局 次長 成田 達治様より「DX 推進と、デジタル・プラットフォームに関する政策について」、また東京大学大学院情報学環 教授 越塚登 先生より「DX 時代のデータ利活用 ～Open IoT を活用した人材育成や地域が抱える課題解決について～」の講演があった。



午後のセッションでは、DX の事例講演、会員企業から応募があったソフトウェアエンジニアリングの経験報告、デザイン思考によるアイデアを IoT キットで実現するワークショップ、技術革新委員会の活動報告などのセッションが開催され、それぞれ熱のこもった発表がおこなわれた。



【ワークショップの作品一部】

シンポジウムの最後に情報交換会パーティが開催され、本日の講演内容がパネル展示され、参加者間で情報交換が行われた。また、経験報告発表の中から、株式会社リンクレア 石戸伸道氏「エンジニア能力差異によるプログラム品質低下抑止手法の検討ーリンクレア開発メソッド linX-J の整備ー」が優秀賞として表彰された。

なお、本イベントの詳細については JISA 会報 1 月号、4 月号に掲載予定である。

(大原)